



手刈りのイネを稲架にかけて、天日乾燥させる



西日本アグロエコロジー協会撮影

高島市農業の 未来を考える

田んぼの生き物調査報告会 2024 年度

日時：1月25日（土）午後1時半～4時
会場：高島市観光物産プラザ2階会議室
参加費 無料・予約不要

主催：西日本アグロエコロジー協会
共催：高島市針江生水の郷委員会
後援：高島市役所

問い合わせ：

西日本アグロエコロジー協会事務局
（コープ自然派兵庫内）

TEL：078-998-1671（月～金 9：00～17：00）

メール：agroecology@shizenha.jp



全国では「みどりの食料システム戦略」に基づいて、2024年8月現在で129市町村が「オーガニックビレッジ」宣言を発出しました。滋賀県でも3市町が「オーガニックビレッジ宣言」を採択済みです。今後、環境への負荷を減らす動きは確実に加速されます。

西日本アグロエコロジー協会では、こうした情勢の中で、**「生き物農業」による農業振興と地域活力の可能性を探る**ために、2022年から田んぼの生き物調査と農薬の残留調査を実施してきました。本年度は3年間のまとめとしての報告会を開催します。

基調講演として、琵琶湖博物館の米田一紀さんから琵琶湖の魚と田んぼとの関わりについて話題を提供してもらいます。

みなさまの参加をお待ちします。

◇当日スケジュール

1. 主催者挨拶 西日本アグロエコロジー協会
2. 共催団体挨拶 山川 悟(針江生水の郷委員会会長)
3. 基調講演 「琵琶湖の魚と田んぼとの関係」
米田一紀(滋賀県立琵琶湖博物館学芸員)
4. 生き物調査の結果 近畿大学農学部生態調査班学生
5. 農薬残留調査と水質調査の結果
池上甲一(西日本アグロエコロジー協会)

◇日時：11月25日(土)午後1時半開始

◇会場：高島市観光物産プラザ2階会議室

◇参加費：無料 予約不要